



入居者様の声

N・N様：70代女性：筋ジストロフィー：ナーシングホーム JAPAN 入居中 ジェスチャー・ロパク・ノートによる筆談（気管切開・呼吸器使用中）

インタビューに筆談にて答えていただきました。

★病気になる前は・・・

「金融関係の会社に8年勤め、26才で結婚。その後、学校関係で23年勤め、二男一女を授かる。趣味は50年来の友人と共に旅行すること、トレッキングをして草花の名前を覚えること」

★体調に異変を感じたのは・・・

「10年程前、若い頃はヒールを履いて地下鉄の階段を速足で登り降り出来たのだが、息苦しく感じるようになった。総合病院では加齢だと言われたのだが、当時体力には自信があり、おかしいなと感じた。」

★病院での生活は・・・

「主治医の先生も病状を詳しく説明してくれた」

「現状維持の為にリハビリを行い、自分の事はだいたい自分で出来た」

★今後の希望は・・・

「車椅子で行動出来る様になりたい、排泄をトイレでしたい、美味しい物が食べたい。自分の事は最小限自分でやりたいと思う。」

日々の生活の中で、事前に希望や現状の思いをノートに記入して下さるので、訪問中のコミュニケーションは問題なく取れています。

現状は筆談やスマホが使用できますが、困難となった時にもコミュニケーションが継続できるように、ご状態に合わせた支援を継続してまいります。



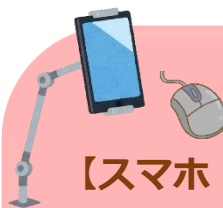
スタッフの声

Mさん：訪問介護士
ケアコール千種所属：4か月

私は以前小売業で働いており、コロナの影響もあり人生を見つめ直す時期を迎えました。

両親が病気をしたこともあり介護職に興味を持ちこちらの施設で全くの未経験で入社しました。

入居者様の状態やケアの仕方、コミュニケーション方法など戸惑うことも多いですが、先輩方に教えていただきながら、入居者様の人生に関わっていきたいと思います。



トピックス

【スマホ・タブレットをマウスで操作する】

様々な意思伝達機器がありますが、使い慣れたスマホやタブレットを継続して使いたい方も多いと思います。

腕が持ち上がらない、握れないなどで操作を諦められている方もいるかもしれません。

実は少し手を加えれば、パソコン用のマウスを使って、スマホやタブレットを操作する事ができます。

ベッドに固定するアームや、無線マウスを貸出する事もできますので、ご興味がある方は是非支援メンバーにお声がけください。